

令和6年度地域と学校の連携・協働体制構築事業

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
②学校と 地域の課 題	05 そ 他	町内の若者が町外 へ流出している事か ら、事業での講師や サポーター不足に繋 がり、最終的に子ども たちの学習幅の縮小 へ結びついている。	新規事業を検討 する中で、町内 の講師が不足し ていたため外部 へ講師を依頼し ていた。	町内講師不足が課題で あったため、教育委員会職 員が講師となったことや、学 習の幅を広げるための新規 事業を実施した。	参加者が郷土に興 味関心を示し、未来の 町の担い手となるよう な意識が根付く。	事業最終日 に参加者に向 けてアンケート 調査を実施 し、結果を基 に達成度を測 る。	40	%	50	70	03 本年度の 目標値を達 成し、課題の 改善が見られ た 講師不足・担い手不足については町内どの事業に おいても課題としており、本事業を通して少しでも改善 をできるようにとして実施している。 今年度のアンケート調査の結果からは、中学生に なっても参加をしたいと回答をした参加者が多数いる 状況であり、担い手の育成について結びつけることが 出来たと捉えている。 (本事業は小学校3年～6年生対象)